

第42回 CIS研究所パートナー会 議事録

日時 2014年10月26日(火) 13時～ 17時

場所 CIS会議室

1) サロン 講師 西村 靖紀 様

TFT 液晶の普及談義



会議風景

液晶製品・普及の歴史

歴史的には、ワープロやちょっとした表示を目的とした、白黒の単純マトリクス液晶が先行しているが、(動画表示できる)TFT カラー液晶についての的を絞ってまとめた。

まず、TFT カラー液晶を使おうとした顧客はカラーテレビだった。

1988年14型のテレビを発表した、これにより液晶で TV ができる可能性を皆が認めたことが、液晶の歴史の大イベントであった。これが IEEE のマイルストーンに認められた(2013年)。

(省略)

まとめ後記:

表示デバイスを大きく変えた、液晶パネルは、開発、製造技術はじめ、多くの部品を作り出し、大きな産業にすることができた。 シャープを代表とする液晶事業は、日本の電子産業発展に大きな足跡を残したが、かつて半導体産業が衰退してきたように台湾、韓国、そして近年は中国の参入により、日本の生産量は大きく後退している。

魅力ある産業ほど、競合も多いことから、常に新しく魅力ある商品開発がなければトップで走る産業でも、いずれ衰退してしまう例はおおい。

今年のノーベル物理学賞に輝いた青色LEDについても、すでに東南アジアに量産で後れを取ってしまっている。 いつも言われていることである。

産業だけでなく、日本国民が安全で安心した将来のための「国家100年の計は」如何にすべきか、いずれ討議したい。 山本(記)

2) 自由な討議を行う。

70歳を過ぎる高齢者の集まりとなると、高血圧、前立腺肥大、頻尿、尿酸値、等 共通する疾病に悩まされている会話が多く、高齢者は健康障害を気にしていることが伺える。

3) 次回

11月25日(火)

講師 竹内 学 様

ホームページ URL

<http://www.cis-laboratories.co.jp/>

以上